

豊島区、 豊かさを実感できる街へ。

私たちの豊島区は、この10年で大規模な再開発を進め、アート・カルチャーに力を入れた魅力的な街づくりで、世界に誇る、日本有数の人気都市となりました。部屋を借りて住みたいランキングでは、東京1位です。しかし、その裏には目を背けられない現実があります。

出生率0.93は、東京23区で最下位、年少人口の割合は最低レベルの9%。20代~30代前半でこの街に住んでも、子育てファミリーになると郊外へ引っ越してしまう。23区内で人口密集度は最高なのに、空き家率も最も高いという矛盾と悪循環、時代遅れの区の正規職員削減も止まらず、区全体の行政サービスの低下が指摘されています。

遊びたい街にはなれたが、住み続けたい街になれていない。これが今の豊島区です。ではどうするか？

私たちが最も重視するのは「実感できる豊かさ」です。物価高騰は続いても、賃金は上がらない日々。政治・行政主導の大規模都市開発という、多くの住民にとって向こう側の出来事ではなく、ひとりひとりが暮らしの不安におびえることなく、それぞれが考える豊かさを実感できる街をつくりたい。

- ・高齢者がいきいきと暮らし活躍できる生活サポート
- ・年収・年齢を問わない、子育て世帯への直接支援
- ・治安のいい街No.1に向けた、防犯防災体制強化
- ・区民にお金も時間も無駄に使わせない、やさしいデジタル化
- ・経済政策としての豊島区独自の賃上げ政策
- ・風通しのいい区政運営で、区長と議会の透明な関係づくり

神沢かずたかは、朝日新聞の記者として全国を飛び回り、日本中の様々な地域で暮らす人々の声に耳を傾けてきました。豊島区で毎日の暮らしを送る区民が、豊かさを実感できる街へ。私があなたと一緒に、新しい豊島区をつくりたい。